

平成三十一年度  
玉東中学校便り 文責 田河 第十二号  
希望の虹  
平成三十一年一月二十五日



入試本番 力を発揮せよ

一月十五日、玉名荒尾地区の私立高校奨学専門入試を皮切りに、いよいよ入試シーズンに突入しました。本校からは四十九名の三年生が自分たちの夢の実現に向けて、チャレンジしていきます。入試は一発勝負であり、弱気になりそうになる自分の心(不安)との戦いでもあります。そんな不安な心を拭い去る拠り所になるのは、最終的には「自分はこれだけの努力をしてきたんだ」という自分への信頼ではないでしょうか。もちろん家族の皆さんからの励ましや神社のお守り等もそれなりに不安払拭のための、よすがになると思いますが・・・)

私は、この一年間の三年生の努力を見てきています。きっと本番ではこれまで培ってきたことを余すところなく発揮してくれると信じています。「力を発揮せよ 頑張れ!三年生」

(今後の入試日程)  
二月一日 公立前期選抜  
二月十三・十四日 熊本市内私立一般  
三月六・七日 公立後期選抜

頑張れ

生徒会 新委員長・議長

昨年十二月に次年度の玉東中学生徒会執行部が誕生しましたが、今回はこの執行部と力を合わせて玉東中をリードしていく常任委員会の新委員長や議長の承認式がありました。

このあと旧生徒会の三年生から大切な事を引継ぎ、新たな玉東中を築いてもらいたいと思います。

- (議 長) 深川智加・藤本貴寛  
(委員長) 生活・安全…西森心彩  
総務…坂村典信 保健…松本雪音  
学芸…松本愛華 環境…西山茉希  
給食…清田晃平 体育…小柳優那

承認式において期待する事として「不易と流行」という話をしました。

これまで先輩方が大切に伝えてきた本校の伝統は着実に継承しつつ、思い切った変革すべきは恐れずに行いたいと思います。

先日、NHKで放送された「プロフェッショナル」にくまモンが登場しました。その番組の中で、蒲島知事の「皿を割れ」という言葉が紹介されました。「皿を洗って割れる事を恐れず、思い切ったやっつけて欲しい」という内容でした。新生徒会の皆さんも是非、「皿を割る」くま蒙の気持ちで取り組んで欲しいと思います。

皿を割れ



去る一月九日、恒例の校内席書大会が行われ、全校生徒が、各学年の課題に熱心に取り組んでいました。習字だけでなく、文字を丁寧に整えて書くことができる人は、心に落ち着き・余裕のある人ではないかと思えます。普段から良い姿勢で丁寧な文字を書くよう心掛けたいものです。



インフルエンザ警報  
ご存じのとおりインフルエンザが猛威を振るっています。本校でも今週は6〜7名程度の罹患者が推移しました。まずは予防が一番です。手洗いやうがいや帰宅時など丁寧にするのは当たり前ですが、水分をこまめに補給すると効果的だそうです。ウイルスを胃の中に流し込み、胃液でやっつけるそうです。同時に、食事で栄養を十分とり、睡眠時間を確保するようにしましょう。

心の栄養となる言葉②  
チャンスは何回もない。  
それをつかめるよう普段から努力するしかない。  
納谷幸喜(元横綱・大鵬)  
「明日をひらく言葉」 致知出版社より